



受章した藤村久さん(中央)

春の叙勲

きよくじつそうこうしょう
旭日双光章

元町議会副議長(第17・18代副議長)

ふじむら ひさし
藤村 久さん

元町議会議員の藤村久さんに「旭日双光章」が贈られました。藤村さんは、昭和62年に地域住民から推薦され、町議会議員に初当選。以来、6期24年間にわたり在職。平成11年から副議長を約6年間務めました。議員に就任した翌年の昭和63年5.3大水害では、不眠不休で被災住民の救済、援護に努めました。この水害の経験から、地域住民の念願であった御船川および矢形川の改修を関係機関に強く要望し、河川改修工事の実現に貢献しました。「今までお世話になった方々のおかげで受章できました。これまで自分の信念を通し、何事も取り組んできました。胸を張りたいです」と受章の喜びをかみしめました。

第33回一般女子会長旗争奪バレーボール大会

5月17日、御船小学校体育館で第33回一般女子会長旗争奪バレーボール大会が開催されました。町バレーボール協会(竹田津純会長)主催で行われたこの大会は、町内やふるさと選手を含めた4チームが参加。試合は、白熱したラリーや周りからの声援に簡単にはボールを落とさないという気持ちが伝わってきました。厳しい戦いを制したチームバボちゃんずの村上記子主将は「前大会では、準優勝だったので、リベンジできてうれしい。次の大会でも2連覇目指したい」と話しました。



優勝したチームバボちゃんず

お茶乃のぐち「野口園」でお茶摘み

吉無田の地に緑色に広がる茶畑—お茶乃のぐちの「野口園」でお茶摘みが行われました。今年は4月中旬からお茶の葉収穫が始まり、春に雨が降ったため、良く育っており、さらに、標高400m~600mに位置する吉無田は寒暖の差が激しく、気候が良いので香りの良いお茶が採れます。野口園の野口大樹さんは「震災を受けて、お茶農家も減った中、残ったお茶農家で頑張っています。地元でもお茶をたくさん飲んでもらいたいです。秋にはお茶摘みの体験も計画しています。ぜひお越しください」と笑顔で話しました。



▲生産者の野口大樹さん



▲吉無田の地で育つ茶葉



植えた苗は600株!上手に植えました。

上野保育園が芋の苗植え

5月12日、川口勝行さん(上野)の畑で、上野保育園(上村いつ子園長・42人)の園児16人が芋の苗植えを行いました。農業体験や思い出づくりが目的で、園児たちは苗を植えるために穴を掘り、植えたあとに周りの土を抑えて「ギュッ、ギュッ」と言いながら丁寧に作業しました。園児たちに指導した川口さんは「きれいに植えられていてびっくりしました。去年は震災で子どもたちと芋の苗が植えられなくて残念でしたが、今年は植えられてよかったです。秋の収穫を楽しみにしています」と話しました。



小坂ジュニア
2年ぶり10回目の優勝
そして、全国へ—

<試合結果> 荒尾市運動公園ソフトボール場

	vs 相手チーム	試合結果
予選	三角小学校	11 - 0
予選	本渡南小学校	19 - 0 (完全試合)
準決勝	玉名三ツ川S C	4 - 0 (完全試合)
決勝戦	秋津小楠S C	1 - 0

4月29日、30日に第31回全日本小学生ソフトボール大会熊本県予選会が荒尾市で開催され、小坂ジュニアソフトボールクラブ(岩野勇監督・26人)が2年ぶり10回目の全国大会への切符を手にした。

激闘の決勝戦—

決勝戦は好敵手の秋津小楠S C。好試合で0 - 0のまま、タイブレークに入りました。後攻、小坂は2死満塁から3番本田壮太の3遊間へのゴロを相手のショートが1塁に送球するがセーフ、この間に3塁走者がホームインでサヨナラゲームで優勝しました。

全国大会へ—

平成29年7月29日~8月1日まで三重県熊野市で開催される全国大会へ、全国制覇を目指して出場します。

